



**種名** : ブルーギル *Lepomis macrochirus macrochirus*

**分類** : **特定外来生物\*** **純淡水魚** **北米原産**

\*特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

## ○大きさ

- 成魚：10～25cm

## ○生息箇所（すみか）

- 利根川や霞ヶ浦の全域に侵入しています。
- 適応できる環境の幅がひろい。

## ○生態（どんな生活をしているか）

- 強い雑食性(ざっしょくせい)で水草や甲殻類(エビやカニ等)、魚卵(ぎょらん)、魚類の稚魚(ちぎょ)等なんでも食べる。
- 繁殖期(はんしょくき)は5～7月。オスが卵を守ります。

## ○釣りや漁業

- 餌釣りやルアーが主な釣り方です。
- 漁業や水産利用(すいさんりよう)は殆どありません。
- 特定外来生物に指定されているため、捕獲したブルーギルを生きのまま他の河川や湖、沼に移動することは法律で禁止されています。

## ○地域利用

- 日本に生息しているブルーギルはDNAから1960年に静岡県の一碧湖(いっぺきこ)に移入された15匹個体の子孫とわかっています。
- オオクチバスとともに密放流(みつほうりゅう)され、分布拡大しました。
- 日本ではほとんど食用利用はされていませんが、アメリカではパンフィッシュ(フライパン一枚で調理できる魚)として親しまれています。

※寄生虫のリスクがあるため、十分な加熱が必要です。